

令和 7 年の土砂災害発生件数を公表 ～令和 7 年は多様な現象の影響による土砂災害が発生～

令和7年は、37 の都道県で 578 件の土砂災害*が発生しました。

梅雨期の少雨傾向が影響し、集計開始以降(S57～R6)の平均発生件数(1,116 件)を下回る水準でしたが、8月6日からの大雨による被害のほか、火山噴火や林野火災後の荒廃流域からの土砂流出による被害など、多様な現象の影響による土砂災害が発生しました。

* 土石流等、地すべり、がけ崩れ。ただし火砕流は除く。

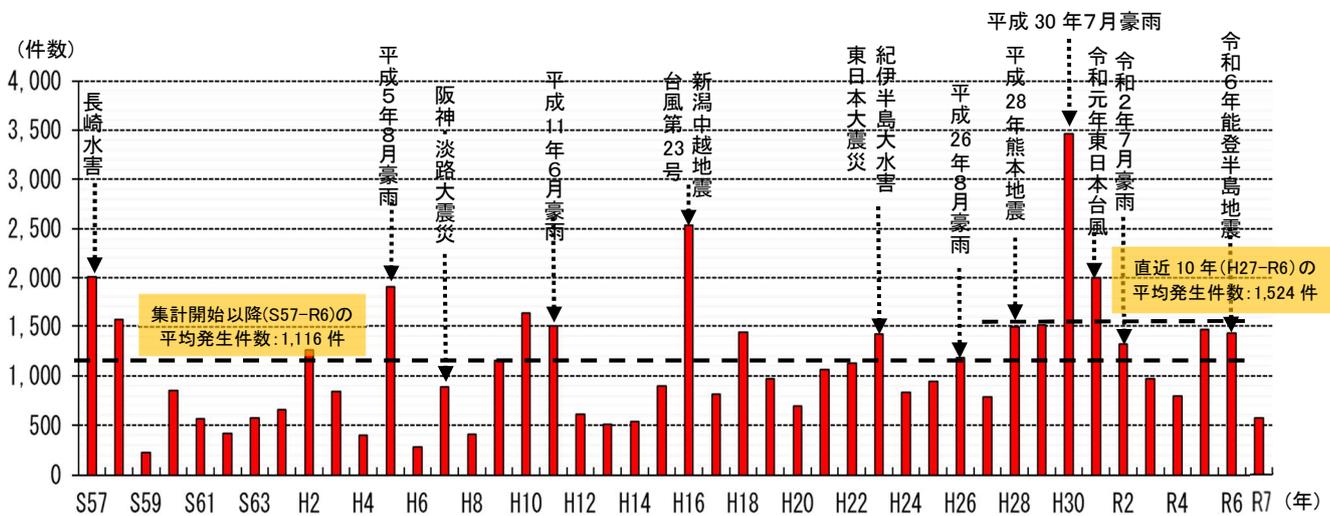


図. 土砂災害発生件数の推移(S57～R7)

- 令和7年は、37 都道県で 578 件の土砂災害が発生し、死者2名、人家被害 241 戸の被害が生じました。
- 発生件数としては、梅雨期の少雨傾向が影響し、統計開始以降(S57～R6)の平均発生件数(1,116 件)を下回る水準でしたが、8月6日からの大雨による被害のほか、火山噴火や林野火災後の荒廃流域からの土砂流出による被害など、多様な現象の影響による土砂災害が発生しました。
- 6月に7年ぶりに噴火した霧島山(新燃岳)では、噴火後の7月10日に、鹿児島県霧島市の霧島川で土砂災害(1件)が発生しました。火山噴火後の荒廃流域から、同年に土砂流出による被害が確認された事象としては平成12年の東京都三宅村(みやけむら)以来です。
- また、3月に昭和 39 年以降最大規模の林野火災が発生した岩手県大船渡市では、11月1日の大雨で土砂災害(1件)が発生しました。林野火災後の荒廃流域から、同年に土砂流出による被害が確認された事象としては平成5年の高知県香美郡物部村(かみぐんものべつん 現香美市物部町)以来です。
- 令和7年の土砂災害に関する詳細情報は、国土交通省HPをご参照ください。
<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/r7doshasaitop.html> 【QRコードは右】



(問い合わせ先)

水管理・国土保全局 砂防部 保全課 土砂災害対策室

課長補佐 山上 直人(内線 36232)、係長 濱崎 克彦(内線 36233)

TEL 代表:03-5253-8111、直通:03-5253-8470